

当院で行っている妊孕性(にんようせい)
温存方法について



社会福祉法人 済生会支部
山口県済生会下関総合病院



金鱗湖秋景

基本理念

「心のかよう質の高い医療」を提供します

基本方針

「患者の幸せ」のため、質の高い医療の提供を目指します
よりよい医療環境を求めて、地域と共に保健・医療・福祉の充実を目指します
職員の協働活動のため、よりよい環境づくりを目指します

患者さんの権利と責務

1. 個人の尊厳を尊重され、医療者との相互の協力関係のもとに良質な医療を受けることができます。
2. 病気・検査・治療などについて、十分な説明と情報をうけることができます。
また、よく理解できなかったことについては十分理解できるまで質問することができます。
3. 十分な説明と情報提供を受けた上で、医療者が提供する検査や治療方法などを自らの意思で選択することができます。また、他医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
4. 当院での診療の過程で、医療者が得た個人情報やプライバシーについては厳正に保護されます。
5. 所定の手続きをおとりになることにより、ご自分の診療録の開示をお求めになることができます。
6. 良質な医療実践のため、自分自身の健康に関する情報を正確に提供する責務があります。
7. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの入院生活や病院職員の医療提供に支障を与えないように配慮する責務があります。
8. 安全で優しい療養環境を維持するために、医療に関する法律や病院で決めた約束事などをお守り頂く責務があります。
9. 医療費を支払う責務があります。

当院で行っている 妊孕性温存方法について

当院産婦人科医師

た な べ
田 邊

まなぶ
学



若年がん患者は近年増加傾向を示していますが、手術療法、化学療法そして放射線療法などを中心とした集学的治療の進歩に伴い、その治療成績は向上してきております。しかし、それらの治療を行うことによって、妊孕性（妊娠できる能力や妊娠を維持する能力）を失う可能性があることが大きな問題となってきております。妊孕性温存とは将来妊娠の可能性が消失しない様に生殖能力を温存するという考え方です。妊孕性温存には手術の方法などに係わるものもありますが、ここでは不妊治療を行う施設で行える妊孕性温存について述べさせていただきます。がん治療前に行う方法として具体的に女性側では

①卵子

②受精卵（女性側が担癌）

③卵巣組織

一方男性側では

①精子

②受精卵（男性側が担癌）

③精巣組織

を凍結保存し、妊孕性を温存します。当院では男性側に①精子②受精卵（男性側が担癌）③精巣組織の凍結を行っております。また、女性側でも②受精卵（女性が担癌）について行う予定です。①卵子や③卵巣組織は技術的に大変困難で、残念ながら卵巣組織を凍結してその後妊娠に至った例は我が国では認められておりません。

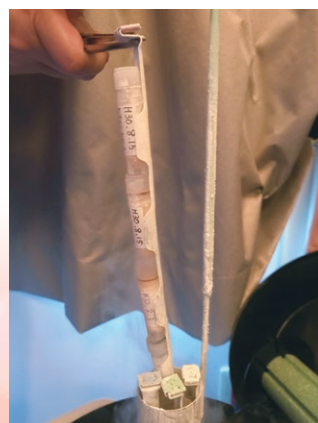
それでは当院で行っている妊孕性温存の現状について簡単に述べさせていただきます。

これまで当院で妊孕性温存目的に精子を凍結したのは9例で、精巣腫瘍、Ewing肉腫、B型肝炎、骨肉腫の患者さんに対してでした。凍結精子を使用し



妊娠、出産したのは1例です。9例中1例は化学療法後の凍結であり、来院時には精子が少ない乏精子症の状態でした。

がん患者さんに対しては、疾患の治療が最優先で、その治療が遅れることなく遂行されることが大原則であり、がんの種類や進行状況によっては、妊娠、分娩をあきらめざるを得ない状況も少なくないです。しかし、がん治療医と生殖医療者の連携不足などで、がん治療開始前の妊孕性温存に関する患者さんへの情報提供不足や、温存可能であった妊孕性が温存されないケースもあります。諸先生方におかれましては、がん患者さんの診断にかかわられることもあるかと存じます。生殖可能年齢のがん患者さんがいれば、是非治療前の凍結保存という妊孕性温存方法があることをご教授していただけたらと思います。



当院の認定看護管理者紹介

看護師長

すえ た ひろ こ
末田 博子



平成30年に認定看護管理者を取得しました。認定看護管理者には、患者・家族や地域住民に対し、より質の高い看護を提供出来るよう、自身が管理する組織の課題を明らかにし、組織内の様々な部署や人に働きかけて、組織全体のサービス提供体制の向上に取り組むという役割があります。

医療は「病院完結型」から「地域完結型」へと大きく方向転換しました。「ときどき入院、ほぼ在宅」と言われるように、患者さんが住み慣れた地域で暮らせる社会が求められています。私たち看護職は、病気とともに生活する人を地域の中で支えるために、医療と生活の視点を持ち、病院から地域までをつなぐ必要があります。看護管理者として、地域医療において専門性を発揮すると同時に、相手を慮る心を持ち、地域の皆様の思いに寄り添った質の高い看護が提供出来る看護職の育成を図っていきたいと考えています。地域の組織間の連携を図るとともに、地域全体の医療・看護の質の向上に貢献できるよう、日々自己研鑽をしていきたいと思いをします。



看護師長

しゅ とう えつ こ
首藤 悦子



平成30年に認定看護管理者を取得しました。認定看護管理者は、多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族および地域住民に対して、質の高い看護サービスを提供することを目指し、保健医療福祉に貢献する役割があります。

2025年問題を前に、下関市では、10年早く3人に1人が65歳以上という人口推移になっています。要介護状態、認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が推進されています。私たち看護職は、地域の方々が、住み慣れた地域で生活が続けられるよう地域の多職種と連携を図り、治療と並行し、生活を支える在宅の視点を持つことが求められます。

地域の方々に選ばれる病院となるため、「施薬救療」「品格あるあたたかな看護」の当院の精神で、安全で質の高い看護を提供する人材育成、また地域に貢献できるよう自己研鑽に努めていきます。地域と看護をつなぐ、思いやりのある看護師の育成を目指し、一人ひとりの看護師が、看護師としてのやりがいを感じ、自信と誇りをもって働ける魅力的な職場づくりに取り組んでいきたいと思いをします。

がん患者さん・ご家族のための

ふくふくサロン

時間 13:00受付～15:00

場所 2階会議室

がん患者さんや家族の方が「語りの場」として「ふくふくサロン」を開催しています。

コーヒーを飲みながら話し合ってみませんか。

開催日

平成30年

**10月10日(水)、11月14日(水)、
12月12日(水)**

費用

無料(駐車料金含む)

対象

がん患者、その他ご家族(通院、入院、他院問わず)

お問合せ

がん相談支援センター(直通) ☎083-262-2332

地域医療支援研修会 (平成30年 10月～12月)
 (時間) 18:00～19:00 / (場所) 管理棟 講堂(3階)

開催日	テーマ	講師
10月 25日(木)	高齢糖尿病患者の看護	糖尿病認定看護師 安田直子
11月 22日(木)	感染経路別予防策について	感染管理認定看護師 古賀香奈子
12月 27日(木)	創傷ケア予防について	皮膚・排泄ケア認定看護師 池田千尋

地域医療支援病院の教育活動の一環として、毎月1回(第4木曜の18時～)研修会を開催します。是非ご参加下さい。
 ※事前の申し込みは不要(駐車場は当院外来駐車場をご利用下さい)

健康講座の予定 (平成30年 10月～12月)
 (時間) 10:00～10:30 / (場所) 会議室(2階)

開催日	テーマ	講師
10月	3日(水) その痛み我慢していませんか？ がんが引き起こす体の痛みと心の痛み	癌性疼痛看護認定看護師 池田恵里佳
	10日(水) 心臓病についてのお話し	集中ケア認定看護師 福永沙織
	17日(水) 日頃からの感染症対策について	感染管理認定看護師 古賀香奈子
	24日(水) 窒息解除について(正月布巾で)	救急看護認定看護師 坂本直美
	31日(水) 実は危険な身体のサイン ～心臓・消化器・脳疾患～	集中ケア認定看護師 堤由佳
11月	7日(水) NEW 人工肛門・人工膀胱って何？	皮膚・排泄ケア認定看護師 池田千尋
	14日(水) 喫煙と手術	手術看護認定看護師 丸岡聖路
	21日(水) NEW がん検診を受けよう	がん化学療法看護認定看護師 清水倫子
	28日(水) 日本人の死因第2位「虚血性心疾患」とはどんな病気？	集中ケア認定看護師 前田友美
12月	5日(水) 乳がん自己検診について	乳がん看護認定看護師 日高由衣子
	12日(水) アレルギーと手術の関係	手術看護認定看護師 西嶋和弘
	19日(水) 緩和ケアを知っていますか？ ～がんの診断時から始まる緩和ケアについて～	緩和ケア認定看護師 山本千春
	26日(水) 赤ちゃんの栄養	新生児集中ケア認定看護師 米村幸子

教室・相談のお知らせ (平成30年 10月～12月)

	実施日	時間	場所	参加費	お問い合わせ
糖尿病教室	10月/5(金)、19(金)	13:30～15:00	会議室(2階)	無料	栄養管理科
	11月/2(金)、16(金)				
	12月/7(金)、21(金)				
なんでも相談窓口	10月・11月・12月/(月)～(金)	8:30～17:00	医療相談室	無料	医療相談室
マザークラス	10月/4(木)、11(木)、18(木)、25(木)	13:00～16:00	会議室(2階)	500円 テキスト代 (初回のみ)	4階東病棟
	11月/1(木)、8(木)、15(木)、22(木)、29(木)				
	12月/6(木)、13(木)、20(木)、27(木)				

おことわり 上記の日程は、諸事情により変更もしくは中止となる場合があります。ご了承ください。
 ※腎臓病教室は、入院患者のみを対象に実施することになりました。※糖尿病教室は、月2回の開催になりました。

診療実績報告 (平成30年 5月～平成30年 7月)

	外来患者数	入院患者数	新入院患者数	平均在院日数	救急車受入件数	手術件数
平成30年 5月	17,563人	11,169人	895人	11.95日	250件	840件
平成30年 6月	17,341人	11,023人	874人	11.85日	239件	769件
平成30年 7月	18,055人	11,618人	922人	11.76日	320件	868件